

三阪 佳弘

高等司法研究科・教授

[研究]

1学期にサバティカルを取得した。

1) 研究の基本的な柱として取り組んでいる日本の近代の地域社会における弁護士の機能とその役割の研究について、京滋地域の弁護士会所蔵史料および、明治前期民事判決原本の分析をもとに、①「明治末・大正期京滋地域における弁護士と非弁護士——続・近代日本の地域社会と弁護士」(阪大法学63-2、33-88頁)、②「明治前期民事判決原本にあらわれた代人——1877-90年の京滋阪地域の代人の事例」(阪大法学63-3=4、159-191頁)、を発表した。

2) 1)の研究を基礎として、H26年度科学研究費補助金応募のための共同研究「近代市民社会における法的サービス需要充足の構造とその担い手に関する比較法史的研究」の準備を行った。

3) 科研基盤研究B「公文書管理法制の比較法政史——あるべき制度設計を求めて」の代表として、4年目の研究を進め、報告書として「公文書管理法制の比較法政史 分析編」をまとめた。

4) 大阪大学出版会教員出版支援制度応募のために「近代日本の司法省と裁判官——比較のなかの裁判官制度」の準備を行った。

[教育]

1) 法学部・法学部同窓会・高等司法研究科創設記念事業のための寄付事業の一環として、学生のキャリア支援教育のための基金の設立の準備活動を行い、キャリア支援教育のための基盤整備に貢献した。

2) 昨年度に引き続いて、法学部同窓会による懸賞論文制度の運営と法学会学生論集「まちかね法政ジャーナル」の質的向上に貢献した。

3) 法学部の日本近代法史およびフレッシュマンセミナーでは、学生との質疑応答を取り入れた授業を心がけるとともに、5回程度の小レポートの作成を行い、アウトプット力の育成に心がけた。高等司法研究科の法理論・比較法史について、毎回のポートフォリオシート作成による講義記録の作成を学生に行わせた。

4) 高等司法研究科修士生弁護士アドバイザーによるウェブ媒体を通じてのサポートシステム(OULS'SAシステム)の開発に携わり、高等司法研究科教育の基盤強化に貢献した。

[管理運営]

適塾記念会幹事、適塾記念センター兼任教員として、『適塾』46号の編集を行い、大阪大学史研究と建学の精神顕彰活動に貢献した。

大阪大学アーカイブズ兼任教員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。

2学期に教務委員を担当し、高等司法研究科の教育活動の管理運営に貢献した。

[社会貢献]

法学部同窓会、阪大法曹会の幹事として、研究科との連携につとめた。今年度はとくに、両研究科・同窓会創設記念事業のための基金確立のための同窓会・法曹会との連携を行うことで、研究科に貢献した。